

1日 火曜

ルカ

17:22 イエスは弟子たちに言われた。「人の子の日は一日でも見たいと願っても、見られない時が来ます。

17:23 人々が『こちらだ。』とか、『あちらだ。』とか言っても行ってはなりません。あとを追いかけてはなりません。

17:24 いなずまが、ひらめいて、天の端から天の端へと輝くように、人の子は、人の子の日には、ちょうどそのようであるからです。

17:25 しかし、人の子はまず、多くの苦しみを受け、この時代に捨てられなければなりません。

17:26 人の子の日に起こることは、ちょうど、ノアの日が起こったことと同様です。

17:27 ノアが箱舟にはいるその日まで、人々は、食べたり、飲んだり、めとったり、とついでにしていたが、洪水が来て、すべての人を滅ぼしてしまいました。

17:28 また、ロトの時代にあったことと同様です。人々は食べたり、飲んだり、売ったり、買ったり、植えたり、建てたりしていたが、

17:29 ロトがソドムから出て行くと、その日に、火と硫黄が天から降って、すべての人を滅ぼしてしまいました。

17:30 人の子の現われる日にも、全くそのとおりです。

17:31 その日には、屋上にいる者は家に家財があっても、取り出しに降りてはいけません。同じように、畑にいる者も家に帰ってはいけません。

17:32 ロトの妻を思い出しなさい。

17:33 自分のいのちを救おうと努める者はそれを失い、それを失う者はいのちを保ちます。



17:34 あなたがたに言いますが、その夜、同じ寝台で男がふたり寝ていると、ひとりを取られ、他のひとは残されます。

17:35 女がふたりいっしょに臼をひいていると、ひとは取られ、他のひとは残されます。』

17:36 [本節欠如]

17:37 弟子たちは答えて言った。「主よ。どこですか。」主は言われた。「死体のある所、そこに、はげたかも集まります。」

神の国が最終的にもたらされるときは、この世の終りがともないます。世界はいつまでも続きませんし、この世界、地球の環境も永遠ではありません。それはやがて…ではなく、近い将来のようです。それがすぐに来ようであっても大丈夫であるように、私たちは備える必要があるのです。

ロトの妻はこの世のものに心が執着していたために、救われることはありませんでした。私たちも家財などに執着しないように、何よりも永遠のいのちの大切さを忘れないようにしましょう。

「死体のあるところ」とはイエス様の十字架の死を意味するものと思われます。はげたかが集まるように、私たちは十字架を慕ってイエス様のもとへ行けば良いのです。十字架の救いも、また世の終わりも、共に存在します。ですから私たちにあって世の終わりは、永遠の御国への入り口なのです。

希望を持ちつつ、終りの日のための備えをしましょう。

愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、

